

Webデザインにおける WordPress の可能性

ー 電子媒体における情報デザインのための事例研究

Study on Potential of "WordPress" in field of Design - Case Study for the Information Design on Electronic Media

井上 貢一

INOUE Koichi

九州産業大学

Abstract : WordPress is one of CMS watched in recent years. The reason that the user increases is because the function and the operability of WordPress are optimized by today's information design.

In this research, I made clear the feature and possibility of WordPress by investigating a keywords on the web.

Key Word : WordPress, Content Management System, Information Design

1. はじめに

オープンソース、ネットワーク、自己組織化。電子媒体における情報のデザインには紙媒体とは異なる「編集」の発想がある。本研究はその特質を探る事例研究のひとつである。

2. 研究の目的と背景

Web サイトを構成するテキストや画像などを統合的に管理・配信するシステムを総称して CMS (コンテンツマネージメントシステム) という。今日、話題となっている CMS の大半はオープンソースで、技術さえあれば誰にでも低コストでその導入・構築が可能であることから、個人のブログから企業の大規模サイトまで、多くの現場で CMS へ移行するケースが増えている。

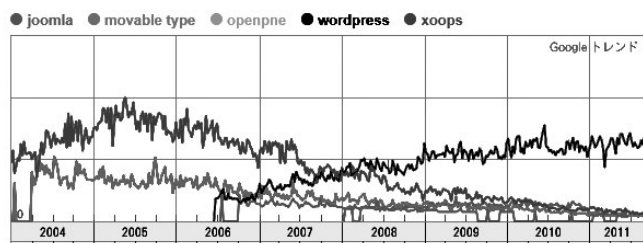


図 1. Google Trends¹⁾ による "WordPress" 検索の推移

その中で最も注目を集めている CMS に WordPress (ワードプレス) がある (図 1.2.3.)。WordPress は、Automattic²⁾ が開発を主導するオープンソースのブログ / CMS プラットフォームで、セマンティック Web、Web 標準、ユーザビリティなどを意識して開発されている。導入方法は 2 種類、WordPress.org³⁾ からアプリケーションをダウンロードして自分で導入する方法と、WordPress.com⁴⁾ でアカウントを作成して利用する方法がある。

本研究では、近年の WordPress の話題性上昇に注目し、なぜ、WordPress が採用されるのか、そこに情報デザイン上のどのような特質と可能性があるのかについて、Web フィールド調査を行った結果を報告する。



図 2. デフォルトテーマ (TwentyTen)



図 3. 管理画面 (ダッシュボード)

WordPress is OpenSource software, and PHP and MySQL which are technology on which WordPress is dependent are also OpenSource.

A beginner can introduce easily and an expert can also customize the in-depth part. WordPress has the various conditions for the sustainability of the WebSite.

3. WordPress に関する Web フィールド調査

調査は Web 検索エンジンを用いて、1) WordPress についてユーザが注目しているキーワードを見出す。2) 得られたキーワードから出現する記事内容を調査し、ユーザが関心を抱いている話題を分類整理する。という 2 段階で行った。

検索には Google 検索 (http://www.google.co.jp/) を利用した。調査は 2011 年 8 月 25 日～31 日の間。検索地は日本 (福岡) である。Google アカウントはログオフの状態、検索オプションについてはデフォルトのまま、フィルタリングは行っていない。

3.1. 注目度の高いキーワード

調査の第一段階では、Google サジェスト⁵⁾ による注目キーワードの抽出を行った。Google サジェストは、検索窓で入力中の文字列に対し、想定されるキーワードや絞り込みキーワードをサジェストする機能である。候補語は Google で検索された頻度やクリックされた結果などの統計情報にもとづき、ユーザにとって有益と判断されたものから順にドロップダウン表示される。

ここでは、検索窓に入力を始めた瞬間に候補語が表示されることを利用し、"WordPress a"、"WordPress b"、という順に "z"

表 1. Google サジェストによる注目のキーワード

文字	絞り込み候補
空白	テーマ プラグイン テンプレート インストール 使い方
a	アクセス解析 アイキャッチ amazon アフィリエイト アップデート
b	blog backup バージョン br 投稿
c	cms codex css category csv
d	デザイン ダウンロード データベース dreamweaver 動画
e	絵文字 ec エクスポート エディタ 閲覧制限
f	facebook 複数 フォーム フォーラム favicon
g	ギャラリー get_posts googlemap 画像挿入 get...
h	html5 複数 フォーム 本 5つ星評価
i	インストール iPhone 移行 importer いいね
j	jquery javascript 事例 自動投稿 japan
k	カスタマイズ 管理画面 カレンダー 固定ページ 携帯
l	lightbox login loop logo linux
m	マルチサイト MySQL メニュー 無料 mac
n	日本語 入門 人気記事 ナビゲーション ネットワーク
o	org openid 競べページ 重い 遅い
p	プラグイン パーマリンク php パンくず パーミッション
q	query_posts quick cache query_string qtranslate qrコード
r	ログイン rss リンク ローカル ロゴ
s	seo リーバー 設定 sns リライトマップ
t	テーマ 使い方 twitter タグ とは
u	ウィジェット url ubuntu user update
v	vicuna visual editor vote version video
w	wiki wp_query widget windows wptouch
x	xampp xml-rpc xrea xml xoops xwd jp
y	youtube 予約投稿 予約システム ユーザー管理 ユーザー登録
z	条件分岐 事例 自動投稿 自動保存 自動更新

3.2. 話題のひろがり

調査の第二段階では、具体的に記事を訪問し、キーワードの意味を理解しつつユーザの関心事の分類・整理を試みた。個々の検索では記事が 100 万件を超えるものが大半だが、実際に当該語の意味を理解するには上位数件の閲覧で十分であった。

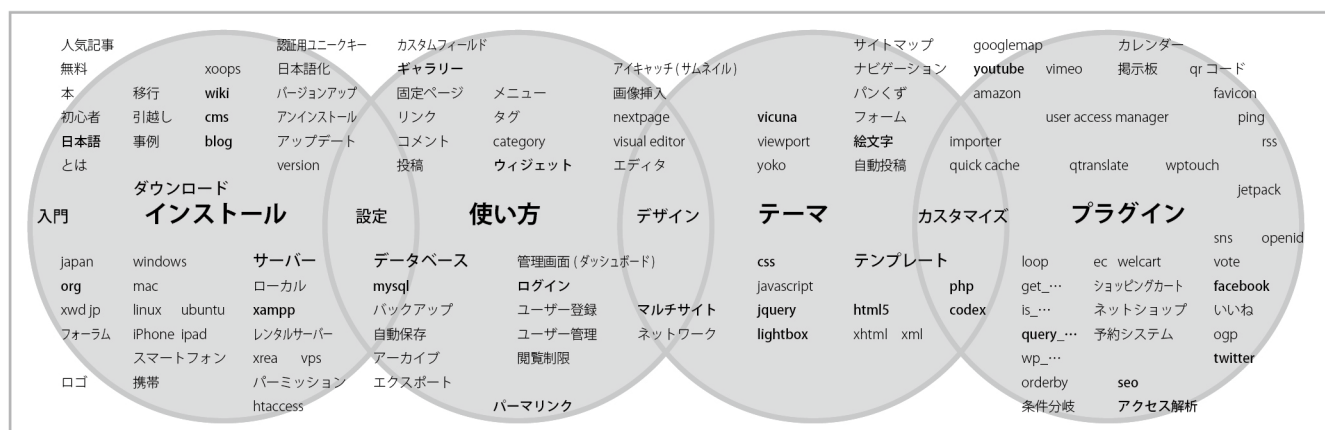


図 4. WordPress に関するキーワードの分布

"WordPress" で検索するユーザの関心は、注目度の結果にも端的に表れているように、「インストール」、「使い方」、「テーマ」、「プラグイン」の 4 項目に大別して整理できる (図 4)。

4. 考察

ここで、各領域ごとにクローズアップされたキーワードとその関連記事から、WordPress が注目を集める理由を考察したい。

4.1. 「インストール」関連の記事から

PC からスマートフォンまで対応範囲の広さも注目すべきだが、まず挙げるべきは、WordPress を支える技術のすべてがオープンソースであり、かつ Web 標準を前提とした設計になっている点であろう。ユーザにとって知的財産に関わるトラブルや独自仕様への対応は大きなストレスとなるもので、新たなシステムの導入に際してはその「設計思想」も選択を左右する注目すべき情報となる。WordPress はその点で非常に見通しが良い。

また、WordPress.com によるブログサービスの存在も特筆すべきであろう。一般に CMS の導入には、Web サーバーやデータベースの知識が必要となるため、初心者にはハードルが高い。その点、アカウントの取得 (無料) だけで「とりあえず機能を試す」ことができる WordPress.com の存在は初心者には有益な存在であり、その普及に大きく貢献していると考えられる。

4.2. 「使い方」関連の記事から

WordPress の具体的な利用法について注目すべきことは、管理画面の優れたインターフェイスと「そこできること」の豊富さである。静的なページの作成や、メニューのカスタマイズ、ギャラリー生成といったコンテンツレベルの機能のみならず、複数のサイトを一括管理できるマルチサイトの運用、アップデートやデータベースのバックアップといった管理者レベルの機能もあり、一般的にはソースコードを直接編集しなければならない作業や、他のツールに依存しなければならないことが、管理画面から集中制御できる。Ver.3.0 以降の記事によれば、Blog というよりは汎用 CMS であり、個人ブログから大規模サイトまで、幅広く対応できる柔軟性を備えていることがわかる。

4.3. 「テーマ」関連の記事から

WordPress におけるテーマとは、PHP⁶⁾ で書かれたテンプレート (HTML) とスタイルシート (CSS) のセットで、それがサイトのデザインを決めている。自由に使えるテーマが数多く公開されていることもひとつの話題であるが、TwentyTen や TwentyEleven といった Ver.3.0 以降のデフォルトテーマで、背景、ヘッダー、メニュー、分類 (タクソノミー) の実装など、サイトデザイン

のカスタマイズがより簡単になったことも注目に値する。また、WordPress のデフォルトテーマがサイトデザインの「お手本」になる…という記事も多く、電子媒体における情報のレイアウトに関して、標準的な文書構造と可変的なビジュアルを分離するという発想がより明瞭に具体化されていることがわかる。

4.4. 「プラグイン」関連の記事から

WordPress におけるプラグインとは、その機能を拡張するプログラムで、Web 上に多数公開されている。PHP で記述されたオープンなテキストファイルで、様々なコンテンツを表示させるためのものから、SNS や EC サイト⁷⁾ としての機能を実現する規模のものまで多岐にわたる。

記事の大半が最終的に WordPress 公式マニュアルである "codex" にリンクしており、ユーザ＝開発者による資料の充実が、さらなるユーザ＝開発者の拡大に貢献していると考えられる。

5. 結び

WordPress という Web アプリケーションは 3MB 程度に圧縮された小さなファイルとして WordPress.org から無料でダウンロードできる。展開して 10MB 程度。すべてオープンなテキストファイルと画像である。インストールとセットアップに要する時間はわずかで、Web デザインの経験のないユーザでも、美しいサイトを開設できる。初心者に対する配慮があると同時に、スキルのあるユーザに対しては、システムの根幹まで編集する可能性が与えられている。

誰にでも簡単に手に入れられ、小さな規模で応用でき、ユーザの創造力を喚起するツール。かつて、E.F. シューマッハが Small is Beautiful⁸⁾ の中で語っていた「技術・道具」の理想がここに体现されている。

Web サイトは更新され続けるものである。サステイナブルな情報デザインに求められるのは、「壊れない」ことではなく、「壊れても修復できる仕組みを持たせる」ことである。

註)

- 1) <http://www.google.co.jp/trends/>
- 2) <http://automattic.com>
- 3) <http://ja.wordpress.org/>: 日本語ローカルサイト
- 4) <http://ja.wordpress.com/>: 日本語版レンタルブログサービス
- 5) <http://labs.google.com/initl/ja/suggestfaq.html>
- 6) PHP (HypertextPreprocessor): 動的なページ生成を目的とした言語
- 7) EC(Electronic Commerce) サイト: Web 上で商取引を行うサイト
- 8) E.F.Schumacher, 1973, Small is Beautiful, Blond & Briggs